

100年に一度の進化するまちの様子をお届け

長崎MIRAISM

誰もみたことのない未来図を、いっしょに描こう。



運が良ければ、パークの名物キャラクター「ガオちゃん」に会えるかも！？

今年の夏は恐竜パークにレッツゴー！

子どもから大人まで一緒に
楽しめるワクワクパーク



昨年の10月にオープンした長崎のもぞき恐竜パーク。芝生が一面に広がるこども広場には、恐竜のデザインをあしらった滑り台や砂場などがあり、子どもたちが遊ぶにはもってこいの場所です。また、すぐそばの水仙の丘からは軍艦島を見ることができ、絶景スポットにもなっています。

大迫力を間近で体験しよう！

パークの目玉でもある長崎市恐竜博物館の常設展示室では、ティラノサウルスの全身骨格レプリカがお出迎え！全長13mの大きさがひときわ目を引きま



す。また7月23日(土)からは新たな企画展「キングス」もスタートします。詳しくは29ページをご覧ください。

問い合わせ

広報戦略室 ☎829-1300

詳しくはホームページ・SNSをチェック！

長崎Miraism

長崎ミライズム

@MIRAISM3

市長の「ホット」トーク

(今月のテーマ)
ペーロン伝来100周年



特別なペーロンの年を迎えたまちがもう一つあります。兵庫県相生市です。造船で有名なこのまちに長崎からペーロンが伝わって、今年でちょうど百年になるのです。
1922(大正11)年、播磨造船所(今のH-H相生事業所)に勤める長

長崎の「夏の風物詩」といえば、ペーロンと精霊流しです。コロナ禍の2年間、精霊流しは感染防止に努めながら行われてきましたが、ペーロンは中止となっていました。そして3年目の今年、長崎港で行われる長崎ペーロン選手権大会は、例年とは形や規模を変えながらも、「ながさきみなとまつり」の一環として開催されることになりました。ペーロンの伝統を絶やさないために、多くの人が力を合わせて開催する今年のペーロン選手権大会は、特別な意味を持つものになりそうです。

* * *

さて長崎にとっても、相生にとっても、大事な今年のペーロン選手権大会は、どんな大会になるのでしょうか。今から楽しみです。

長崎とのつながりも続いていて、今年も両市の「ペーロン友好都市」提携20周年でもあります。ペーロンの船はどれもメイド・イン・長崎。相生の強豪「磯風漕友会」チームは、長崎の大会でも毎年優勝候補に挙げられ、これまで長崎で3回の優勝を遂げています。相生の大会にも毎年、長崎のチームが参加していますが、今年も磯風漕友会が優勝、2位が長崎の牧島チーム、3位も長崎の野母崎チームでした。

崎出身の従業員が始めたペーロンは、多くの人の努力によって相生に定着していききました。1963(昭和38)年からは「相生ペーロン祭」の海上行事となり、相生随一の祭りの花形として発展してきました。今では相生はすっかり「ペーロンのまち」になりました。海沿いに「あいおい白龍(ペーロン)城」という道の駅があり、その中には「ペーロン温泉」もあります。ペーロンの艇庫や資料館を兼ねた「ペーロン海館」もあって、相生ペーロンの歴史をたどることが出来ます。



相生ペーロン祭